

製品取扱説明書

- この度は、当社製品をご購入頂き誠にありがとうございます。
- 製品の使用上の注意事項をまとめておりますので、ご参考の上、製品を安全に・気持ち良くご活用くださいますようお願い申し上げます。



株式会社 青井黒板製作所
<http://www.aoikokuban.co.jp/>

青井黒板 検索

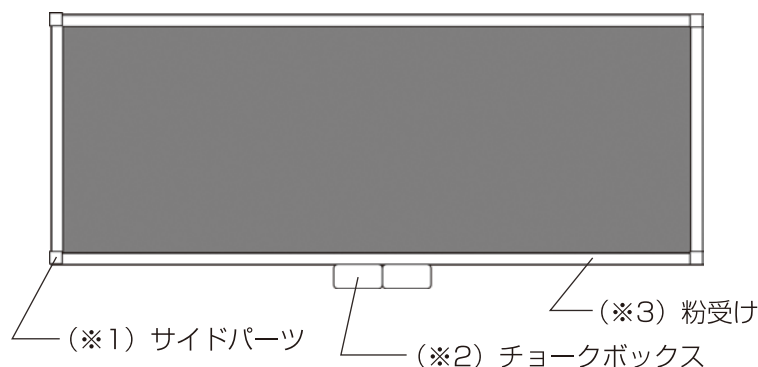
1

黒板／チョークボード・ホワイトボード

可動 (手動／電動)	<ul style="list-style-type: none"> ● UD スライダー平面 ● UD スライダー曲面 ● UD スライダー半曲面 ● 上下 ● 引分 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板 ・ チョークボード ・ ホワイトボード
固定	<ul style="list-style-type: none"> ● 平面 ● 曲面 ● 半曲面 	

種別	名称	材質	色	筆記具
黒板	スチールグリーン	スチール製	グリーン	チョーク
	スチールグレー		グレー	
	ホーローグリーン	ホーロー製	グリーン	
	ホーローグレー		グレー	
板書・映写対応 チョークボード	映るんグレーボード	ホーロー製	ソフトグレー	チョーク
ホワイトボード	スチールホワイト	スチール製	ホワイト	マーカーペン
	ホーローホワイト	ホーロー製	ホワイト	マーカーペン
板書・映写対応 ホワイトボード	ナノホワイトボード	ホーロー製	ライトグレー	
	映るんボード		ホワイト	

⚠ 取扱上のご注意



- ① 粉受けのサイドパーツ (※1) は、絶対にはずさないでください。
- ② チョークボックス (※2) は、出したら必ず元に戻してください。
- ③ 粉受け (※3) に寄りかかったり、脚を掛けたり、登ったりしないでください。
- ④ ボルト、ネジを外したり、分解したりしないでください。
- ⑤ 角にぶつからないよう、ご注意ください。

1

黒板／チョークボード・ホワイトボード



新しい黒板の使い方

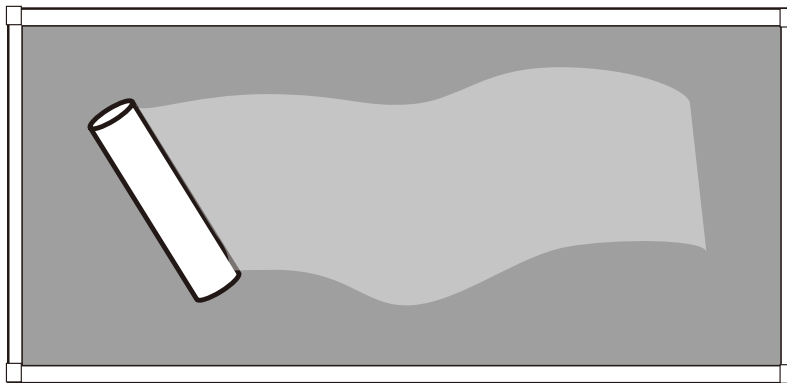
新しい黒板は、チョークと黒板面をなじませることが必要です。

チョークとなじんでいない黒板面は、チョークの文字が消えにくく残ることがあります。

- ① 白のチョークを横に寝かせて（※1）、黒板面にチョークの粉をこすりつけます。
- ② 黒板ふき（ラーフル）で黒板面全体を拭き、チョークの粉を落としてください。
- ③ 更に一度「水拭き」をしていただくと、滑らかになり書きやすく消しやすくなります。

※水拭きの要領は、下記の「日常のお手入れ方法」を参照してください。

（※1）



日常のお手入れ方法

常に黒板ふき（ラーフル）と粉受部についたチョークの粉を取り除き、清潔に保ってください。

【手順】

- ① 黒板面のチョークの粉をきれいな黒板ふき（ラーフル）で落としてください。
- ② 固くしぼったきれいな濡れ雑巾で、黒板面を水拭きしてください。
- ③ 乾いたきれいな布で、黒板面の水分をよく拭き取ってください。

※水拭きの際、水は「水道水」をご使用いただき、洗剤は使わないでください。



1

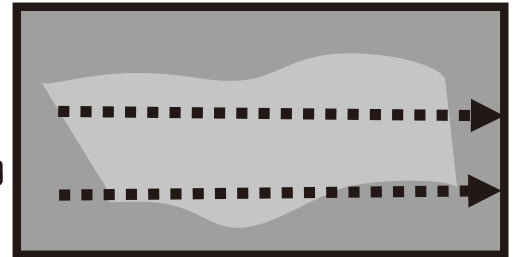
黒板／チョークボード・ホワイトボード



チョーク・黒板ふき（ラーフル）

- ① チョークには、「炭酸カルシウム製（密度が高く、重い）」と「石膏製（密度が低く、軽い）」の2種類があります。黒板面とチョークは相性があり、当社は「炭酸カルシウムチョーク」をお勧め致します。
- ② 「カラーチョーク」又は「蛍光チョーク」は、顔料又は染料が入っているので、消えにくい色もあります。
- ③ 黒板ふき（ラーフル）は、チョークの粉が多量に付いた状態で黒板を拭くと、きれいに拭き取れません。チョークの粉を黒板拭きクリーナー等で十分に落としてからご使用ください。
※また、黒板は、黒板ふきを往復させて拭くとキレイに拭けません。
なるべく上から下へ、また左から右へと一方向（※1）に拭くと、ホコリもたたずにキレイに拭き取ることができます。
- ④ 黒板ふき（ラーフル）は、破れていないものをご使用ください。
- ⑤ 表面布が破損している場合は、取替え時期のサインです。

（※1）
一方向に拭く



⚠ 禁止・注意事項

- ① 黒板に強い衝撃を与えないでください。
黒板面に剥離、割れ、折れ、凹み等が発生すると復元できません。貼替えが必要です。
- ② 黒板面に傷を付けないでください。
画びょう、釘、ピン、カッター、金属が付いたマグネット等を使用しないでください。
- ③ 黒板面に異物を付着させないでください。
セロテープ、両面テープ等の粘着物、飲食物が付着すると復元できない場合があります。
- ④ 湿気を含んだチョークは、消去性が下がります。
チョークは湿気に弱く、長く保管している間に、水分を含み消しにくくなる場合があります。
- ⑤ チョーク以外の筆記具は使用できません。
ホワイトボード用マーカー、マジック、サインペン、クレヨン、色鉛筆などは使用できません。



1

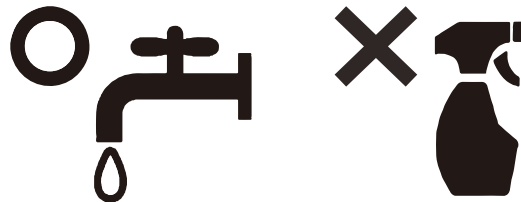
ホワイトボード



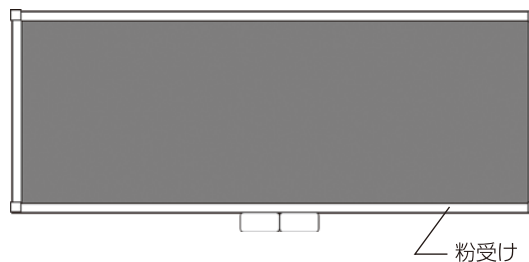
日常のお手入れ方法

① 定期的にキレイな水で水拭きしてください。

- 光沢度の低い製品（映るんボード、ナノホワイトボード）は、時間が経つとマーカーペンが消えにくくなりますので、**毎日の水拭きをお勧め致します**。
注）水拭きの際は、水道水を使用し、中性洗剤は使わないでください。
- 表面が汚れて落ちにくい場合、無水エタノールを使用し、清掃してください。
- 「ホーロー製」の板面が、マジックやマーカーペンで汚れた場合に限り、メラミンフォームに水を含ませ、こすりながら消してください。



② イレーザーや、粉受部に付いたマーカーペンの粉を取り除き、清潔に保ってください。



③ イレーザーは「メラミンフォーム」製を推奨しております。

- イレーザーの表面は、「布製」と「メラミンフォーム製」があります。
- 「布製」は、水洗いが可能ですが、マーカーペンの粉の付着が著しいものは、早めに新品と交換してください。
- 「メラミンフォーム製」は、マーカーペンの消去性が良く、スポンジへのマーカーペンの粉の付着が少ないため、お勧めです。
※メラミンフォームの水洗いは、お勧めしていません。
※汚れたイレーザーの表面を削り落とす「イレーザークリーナー」もあります。

※当社では「スクールソフトイレーザー」、「イレーザークリーナー」を販売しております。

<http://www.aoikokuban.co.jp/>

④ かすれたマーカーペンは、早めに新品と交換してください。

- マーカーペン内に含まれる剥離剤が減るため、消えにくくなります。

1

ホワイトボード

⚠ 禁止・注意事項

- ① ボード面に強い衝撃を与えないでください。
ボード面に剥離、割れ、折れ、凹み等が発生すると復元できません。
- ② ボード面に傷を付けないでください。
画びょう、釘、ピン、カッター等を使用しないでください。
- ③ 書いた後は、なるべく早く消してください。
空気中の不純物が表面に付くと消えにくくなります。
- ④ ボード面になるべく手を触れないようにしてください。
手の油分が付着すると、書き消しがしにくくなる場合があります。
- ⑤ ボード面に異物を付着させないでください。
セロテープ、両面テープ等の粘着物、飲食物が付着すると復元できない場合があります。
- ⑥ ホワイトボード用マーカーペン以外の筆記具は使用できません。
マジック、サインペン、クレヨン等は使用できません。
- ⑦ マーカーペンはなるべく同じメーカーで統一してください。
メーカーが異なると化学反応を起こして、消しづらさの原因となる場合があります。
- ⑧ ボード面と筆記具には相性があります。
 - マーカーペンのメーカー、種類、品質、製造方法等により消えにくい場合があります。
 - 推奨マーカーペンは、ぺんてる製、コクヨ製、パイロット製が良く、外国製のマーカーペンは顔料が強く、消去性の悪いタイプがあります。
- ⑨ マーカーペンは横向きに置いてください。
 - 立てて置くとインクの成分が分離して消えにくくなります。



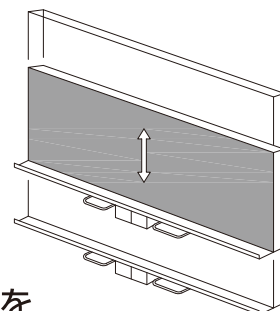
「罫引き入り（カッティングシート貼り）ホワイトボード」について

- ① 文字部分は、カッティングシートを使用しているため、マーカーやイレーザーで触れると剥がれやすくなります。書き消しの際、お手を触れないようお願い致します。
- ② 板面表面のクリーニングをされる際も、溶剤や水等が文字部分にかかると剥がれやすくなります。液体がかからないよう、また、触れないようクリーニングをお願い致します。

月 予 定 表			
日	曜		16
1			17
2			18
3			19
4			20
5			21
6			22
7			23

■使用方法

- 上下昇降は静かに行ってください。
黒板・ホワイトボードの上下昇降は、「中央部のレバー」を持ち、ゆっくり動かしてください。急に大きな力を加えたり、反動的にはじき返すような昇降は危険です。
- 上下昇降させる場合には、「中央の粉受け」と「ブレーキレバー」を挟むようにして上下させてください。
このUDスライダー黒板・ホワイトボードは、ストップ装置（ブレーキ）が付いております。通常はブレーキがきいていますから動きません。レバーを放すとその位置でブレーキがかかり動きません。
- ブレーキを解除する場合、補助黒板等を下ろしてからブレーキ操作してください。乗せたまま解除しますと、下まで一気に下がりますので危険です。動かす際は、手や体を挟まれないようにご注意ください。
- 黒板・ホワイトボードを使用しない時は、一番上に押し上げてください。
黒板・ホワイトボードの位置が高い所で、スプリングに負荷がかからない状態になります。特に夏休みや冬休みなど、長期の休みの際にはご注意ください。



⚠ 禁止・注意事項

- 昇降する場合は、周りに人がいないこと、製品の下に障害物がないことを確認してから動かしてください。
- 粉受けの上に乗らないようにしてください。
無理な荷重をかけると危険です。また、粉受けも曲がりますので、絶対に乗らないように注意してください。
- 「ブレーキレバー部分のみ」を引き下げるような力をかけないでください。
レバーが破損する原因となります。
- ビス・ボルト等の点検を行ってください。
長期間の昇降又は、不用意なショックにより、ビスやボルトが緩むことがあります。ガタツキが生じた場合には、ご連絡ください。
- 上下昇降に負荷がかかり、重くなった際にはご連絡ください。

👉 日常のお手入れ方法

- 黒板・ホワイトボード表面は、水拭きをしてください。
黒板ふき／イレーザで良く拭いたあと、水拭きをしてよく乾かしてから使用してください。

2

可動式 黒板 / チョークボード / ホワイトボード

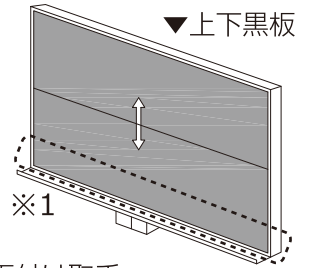
■使用方法

- 昇降・開閉は静かに行ってください。
黒板・ホワイトボードの上下昇降・開閉は、ゆっくり動かしてください。
急に大きな力を加えたり、反動的にはじき返すような昇降は危険です。

- 「上下黒板」を昇降させる場合

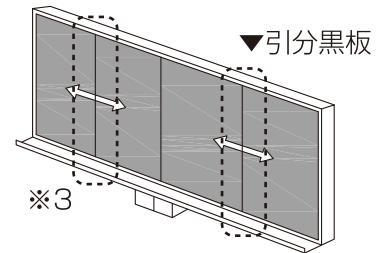
板面下部中央の「取手兼用アルミ枠」(※1)を持ち、上下させてください。右側、左側など偏った場所で昇降させると、バランスが崩れる原因となります。

黒板面が横幅 3.6m 以上の場合は「面付取手 (※2)」が付いていますので、そちらをご利用ください。



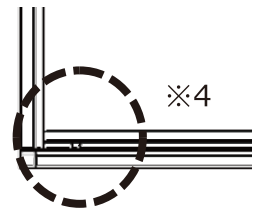
- 「引分黒板」を開閉する場合

開閉させる場合は、両端の「取手兼用アルミ枠 (※3)」に手を添えて開閉させてください。



⚠ 禁止・注意事項

- 昇降・開閉する場合は、周りに人がいないこと、製品の上下左右に障害物がないことを確認してから動かしてください。
- 指はさみ防止のため、板面下部の左右にゴムクッション (※4) が取り付けられています。
ゴムクッションは取り外さないでください。破損した場合はご連絡ください。
- 粉受けの上に乗らないようにしてください。
無理な荷重をかけると危険です。また、粉受けも曲がりますので、乗らないようにご注意ください。
- ビス・ボルト等の点検を行ってください。
長期間の昇降・開閉又は、不用意なショックにより、ビスやボルトが緩むことがあります。ガタツキが生じた場合には、ご連絡ください。
- 上下昇降に負荷がかかり、動かなくなった・重くなった際には、ご連絡ください。



👉 日常のお手入れ方法

- 黒板・ホワイトボード表面は、水拭きをしてください。
黒板は黒板ふき、ホワイトボードはイレーザで良く拭いたあと、水拭きをしてよく乾かしてから使用してください。

警告

- 器具の分解や構造上の改造及び加工等を絶対にしないでください。故障・火災・感電の原因になります。
- 万一、器具から発煙や異臭がした場合は、すぐに電源プラグを抜いてください。そのまま使用されますと、火災の原因になります。
- 濡れた手で触れないでください。感電の原因になります。
- 発光部にプラスチックや、紙などの可燃性のものを近接させないでください。変形・火災の原因になります。
- 塗料などを塗ったり、可燃性の物で覆ったりしないでください。放熱効率を悪くし、発熱や火災、短寿命の原因になります。
- エコパンライトの器具に触ったり、ぶら下がったりしないでください。やけどや落下又は故障の原因になります。



注意

- 電源プラグをコンセントより抜く場合、必ずプラグを持ってください。コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になります。
- 周囲温度 -10～40℃以外では使用しないでください。短寿命や破壊、火災の原因になります。
- 発光部を長時間直視しないでください。目を傷める場合があります。



- 器具の下に温度の高くなるもの（ストーブ、ガスレンジ等）を置かないでください。短寿命・故障の原因となります。

■使用方法

- 壁面等に設置されている黒板専用灯のスイッチにより点灯・消灯を行ってください。
- 万一スイッチを入れても点灯しない場合は、お近くの営業所、または当製品を設置時に電気工事を施工した「電気工事業者」までご連絡ください。



日常のお手入れ方法

- お手入れの際は、必ず電源コードを抜いてください。
- 汚れを落とす場合は、石鹼水を浸したやわらかい布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、シンナーやベンジン、アルコール等の揮発性の物や有機溶剤等を使用しないでください。



使用上の注意

- LED素子にはバラツキが有る為、同一製品でも色温度、明るさが異なる場合がありますので、ご了承ください。
- アース線は、必ず接地してご使用ください。
- お直射日光の当たる場所、水滴のかかる場所、湿気の多い場所、粉塵の多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所、紫外線、放射線の照射される場所、電界強度の影響が強い場所では使用しないでください。



4

掲示板 ビニールレザー・鉄粉入り・エムピン

	押しピン	粘着テープ	マグネット
ビニールレザー掲示板	○	○	×
鉄粉入りビニールレザー掲示板	○	○	○
エムピン掲示板 (パンチングメタル)	○	○	○



日常のお手入れ方法

(ビニールレザー・鉄粉入りビニールレザー・エムピン掲示板共通)

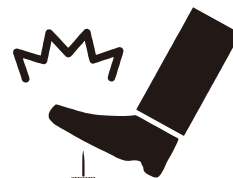
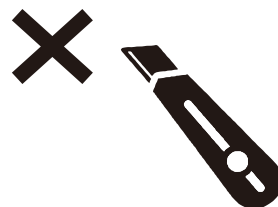
- 表面の汚れは、濡れた布を固く絞って拭いてください。
※ベンジンやシンナー等の溶剤は、絶対に使用しないでください。



禁止・注意事項

(ビニールレザー・鉄粉入りビニールレザー・エムピン掲示板共通)

- 表面にカッターナイフ等で傷を付けないでください。
- 表面に衝撃を与えると、凹みが生じます。
- 表面に油性のマーカー・ボールペン等で書きますと、消せなくなります。
- 押しピン（画びょう）が取れた場合、足で踏む恐れがありますので、お気をつけください。



5

映写スクリーン

固定タイプ	● パネルスクリーン ● ロープ張りスクリーン
手動巻上タイプ	● 巻上スクリーン ● OHPスクリーン
電動巻上タイプ	● 巻上スクリーン ● OHPスクリーン

■ 手動

<巻上スクリーン>

1. スクリーンを引き下げる時は、付属のフック棒をご利用ください。
2. スクリーン面を、ご希望の位置にまで引き下げ、手を添えたまま軽く上に戻すようにしてください。ストッパーが作動し、ロックされます。
3. スクリーンの引き下げ限度を超して、無理に引き下げないでください。無理に限度を超えて引っ張りますと、スクリーン生地が芯のパイプシャフトよりはがれて落下することがあります。
4. 収納するときは、スクリーン下部のフックを持って、少し下方向に引き下げてから上方向に戻してください。ストッパーのロックは解除されますが、もしロックが解除されない時は、もう一度行ってください。
5. 分解、解体はしないでください。パイプシャフトに、「巻上げのためのスプリング」が入っており、金具が飛び出しケガする危険があります。
6. スクリーン生地の下端部にパイプが巻き込まれていますので、ぶつからないようにご注意ください。また、掲示物等、他のものを吊り下げたりしないでください。

<OHPスクリーン>

1. スクリーンを引き下げる時は、付属のフック棒をご利用ください。
2. スクリーン下限まで引き下げるとロックされますので、最後は少し強く引き下げて確実にロックしてください。
3. OHPへの映写時にスクリーンに傾斜が必要な場合は、スクリーンの最下部中央を後ろへ押してください。適切な角度になるように調整して手を離してください。
4. スクリーンを収納する際は、必ずスクリーン面を垂直にしてから、上方向に静かに押し上げてください。ロックが解除され、後は自動的にスプリングにより巻き上げられます。
注) 傾斜が付いたまま巻き上げますと、完全に収納されなかったり、故障の原因になりますので、ご注意ください。
5. 分解、解体はしないでください。パイプシャフトに、「巻上げのためのスプリング」が入っており、金具が飛び出しケガする危険があります。
6. スクリーン生地の下端部にパイプが巻き込まれていますので、ぶつからないようにご注意ください。また、掲示物等、他のものを吊り下げたりしないでください。
7. スクリーンケースの上部中央にフックがついていますので、地図などを掛ける際に、ご利用ください。ただし安全荷重は5kg以下です。

5

映写スクリーン

■ 電動

《巻上スクリーン》

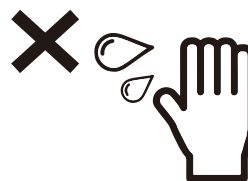
1. スクリーンの操作は必ず「操作スイッチ」で行ってください。
操作スイッチの表示と作動の内容は次の通りです。

【昇】	一度押すと完全に収納位置まで巻き上げて停止します。
【停】 又は 【止】	昇降中に押しますと、ただちに停止します。
【降】	所定の映写位置まで降下し自動的に停止します。

※【昇】【降】の停止位置は、製品納入時に設定しています。

2. スクリーンにぶらさがったり掲示物を掛けたりしないでください。

3. 濡れた手で操作スイッチに触れないでください。
感電の危険があります。



4. モーター部には触れないでください。特に、スクリーンを使用した直後はモーターが高温になっている場合があり、火傷の危険があります。

5. スクリーンを昇降させる時には、周囲に人や障害物がないことを確認してから操作してください。

6. スクリーン生地の下端部にパイプが巻き込まれていますので、ぶつからないようご注意ください。

《OHPスクリーン》

◎電動スクリーンと基本的に同じですが、次のことにご留意ください。

【降】【傾斜】	所定の映写位置まで降下し、傾斜して自動的に停止します。
【停】 又は 【止】	昇降中及び傾斜中に押しますと、ただちに停止します。
【昇】	自動的に垂直に戻って巻き上がります。

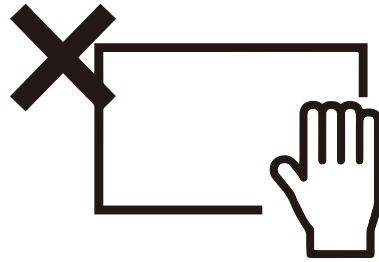
※【昇】【降】 又は 【傾斜】の停止位置・傾斜角度は、製品納入時に設定しています。

※傾斜作動中に【停】 又は 【止】を押して停止させることにより、任意の角度に設定できます。

⚠ 使用上の注意

《スクリーン表面》

1. スクリーン面には、直接手を触れないようにしてください。



2. 固いものや、鋭利なものをスクリーン面に当てないようにしてください。

3. スクリーン面に筆記具を用いて文字や絵を描かないでください。

※消すことはできませんので、ご注意ください。



4. 表面に付着したほこりは、乾いた柔らかい布で軽く拭うか、柔らかいブラシで払ってください。

5. 使用しない際は、「巻上タイプ」の場合は、巻上げて収納し、「固定タイプ」の場合は、カーテン等で表面を保護するようにしてください。

※スクリーン面は、出荷前に充分乾燥させていますが、使い始めは、接着剤や塗装の匂いがすることがあります。

お使いいただくうちに匂いは消えますので、ご安心ください。

6

修理・お取替えにつつまして



以下のような不都合が生じましたら、お近くの営業所までご連絡ください。当社では、点検・検査はもちろん、製品についての適切なアドバイスをさせていただきます。

【可動式 黒板 / ホワイトボード】

- ✓ 上下式黒板のチェーンがスムーズに動作しない。
- ✓ 上下式黒板の吊元（スプロケット部）の緩み・ガタツキ。
⇒落下の危険がございますので、直ちに御連絡ください。
- ✓ UDスライダー黒板のレバーが重く感じる。
- ✓ 自然に上がったたり下がったりする。
- ✓ UDスライダー黒板のブレーキがきかない。
- ✓ 板面を昇降すると、異音がする。

【固定・可動式共通】

- ✓ 黒板の固定ビス等の緩み・ガタツキ。
- ✓ コーナーパーツや付属品の欠損。
- ✓ UDスライダー黒板のレバーが重く感じる。
- ✓ 黒板が光って文字が見えにくい。
- ✓ 板書の際にチョークが滑って書きにくい。
- ✓ 板面の文字が消しにくい、粉が残る。



電話、メールでのご相談は無料です。
お気軽にご連絡ください。

※カタログ内の製品の色は、印刷の為、実物と多少異なる場合があります、また予告なく仕様が変わることがあります。



株式会社 青井黒板製作所

建設業許可番号 国土交通大臣許可 内装仕上工事業、電気工事業、電気通信工事業、建築工事業

<http://www.aoikokuban.co.jp/>



青井黒板 検索

■大阪事業部			
本社	〒567-0016	大阪府茨木市十日市町9番8号	TEL (072)643-8800
堂島オフィス	〒530-0047	大阪市北区西天満2丁目6番8号	TEL (06)6809-2101
		堂島ビルヂング827号	
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉3丁目20番18号	TEL (052)931-2740
静岡営業所	〒422-8046	静岡県静岡市駿河区中島541-3	TEL (054)281-2198
■東京事業部			
東京支店	〒165-0026	東京都中野区新井1丁目1番5号	TEL (03)3387-3330
埼玉営業所	〒337-0016	埼玉県さいたま市見沼区東門前234-1	TEL (048)684-7888
北関東営業所	〒277-0872	千葉県柏市十倉2-313-405	TEL (04)7132-9311
仙台営業所	〒984-0065	宮城県仙台市若林区土樋1番地	TEL (022)268-6995
		ライオンズマンション石名坂101	
札幌営業所	〒007-0825	札幌市東区東雁来5条1丁目3番11-5	TEL (011)784-9362